

イーストスプリング
 US 投資適格債ファンド・
 為替ヘッジ付
 (毎月決算型) / (年2回決算型)
 【愛称：USAボンド毎月 / USAボンド】

追加型投信 / 海外 / 債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
 〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

作成対象期間 2021年4月22日～2021年10月21日

(毎月決算型)

第60期 2021年5月21日決算 第63期 2021年8月23日決算
 第61期 2021年6月21日決算 第64期 2021年9月21日決算
 第62期 2021年7月21日決算 第65期 2021年10月21日決算

(年2回決算型)

第11期 2021年10月21日決算

(毎月決算型)

日経新聞掲載名：USAボンド

第65期末	基準価額	10,749円
	純資産総額	44百万円
第60期～ 第65期	騰落率	1.2%
	分配金合計	60円

(年2回決算型)

日経新聞掲載名：USAボンド

第11期末	基準価額	11,315円
	純資産総額	1,887百万円
第11期	騰落率	1.2%
	分配金合計	0円

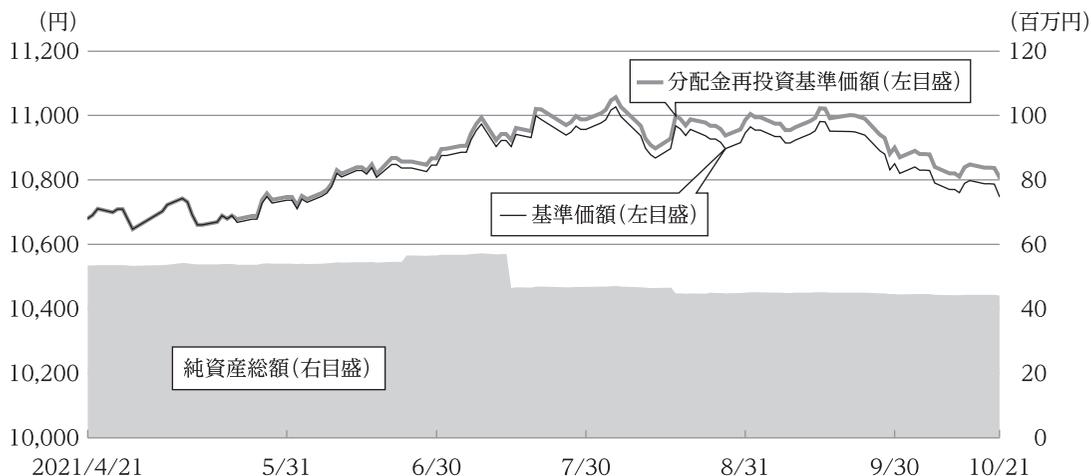
(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

(毎月決算型)

基準価額等の推移について

(2021年4月22日～2021年10月21日)



第 60 期 首	10,681円
第 65 期 末	10,749円 (既払分配金60円)
騰 落 率	1.2% (分配金再投資ベース)

(注1)分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2)分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3)分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



米国投資適格社債が上昇(利回りは低下)したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2021年4月22日～2021年10月21日)

項目	第60期～第65期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	38円	0.347%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、10,831円です。
(投信会社)	(12)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(24)	(0.221)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.043	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(5)	(0.043)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	43	0.390	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

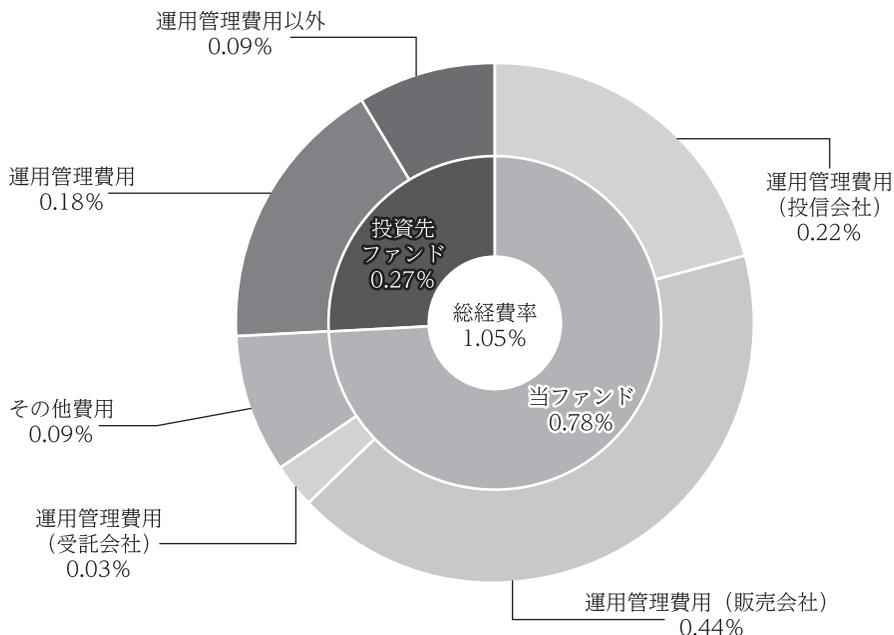
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

■総経費率

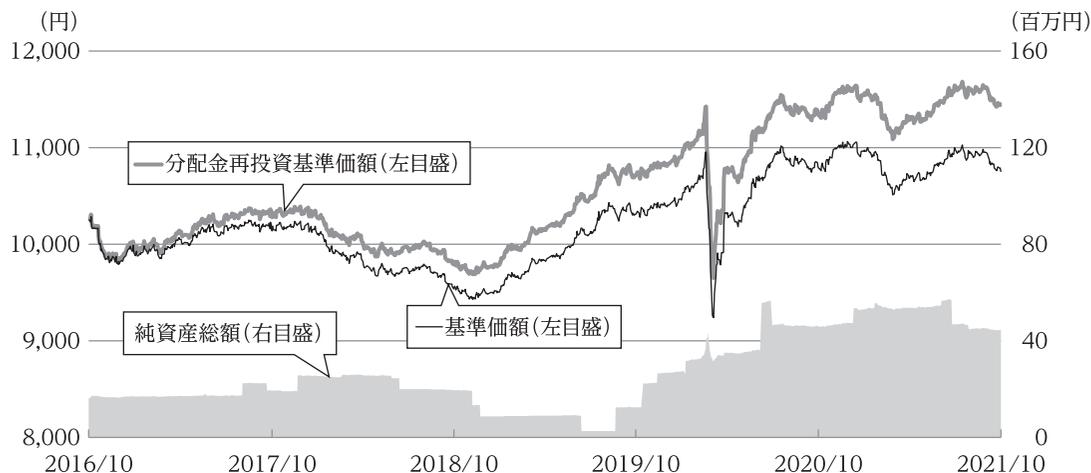
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05%です。



総経費率 (①+②+③)	1.05%
①当ファンドの費用の比率	0.78%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.18%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

- (注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 投資先ファンドでは、監査費用等がかかる場合がありますが、上記の「運用管理費用以外」には含まれておりません。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について（2016年10月21日～2021年10月21日）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2016年10月21日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2016/10/21	2017/10/23	2018/10/22	2019/10/21	2020/10/21	2021/10/21
基準価額	(円)	10,252	10,138	9,536	10,312	10,793	10,749
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	0.1	-4.8	9.5	5.9	0.7
純資産総額	(百万円)	16	19	19	12	45	44

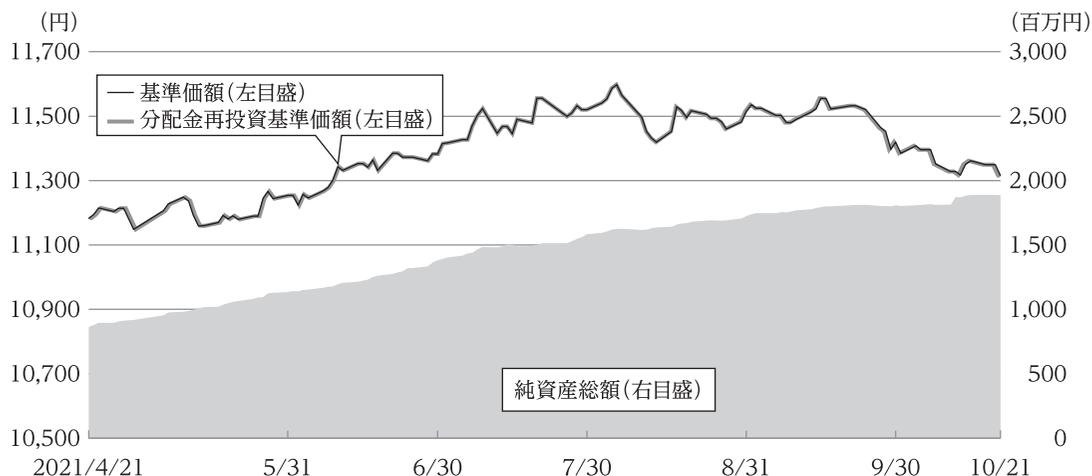
*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

運用経過

(年2回決算型)

基準価額等の推移について

(2021年4月22日～2021年10月21日)



第11期首	11,183円
第11期末	11,315円 (既払分配金0円)
騰落率	1.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因



米国投資適格社債が上昇（利回りは低下）したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2021年4月22日～2021年10月21日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	40円	0.347%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,373円です。
(投信会社)	(13)	(0.110)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(25)	(0.221)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.030	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(2)	(0.021)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合計	43	0.377	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

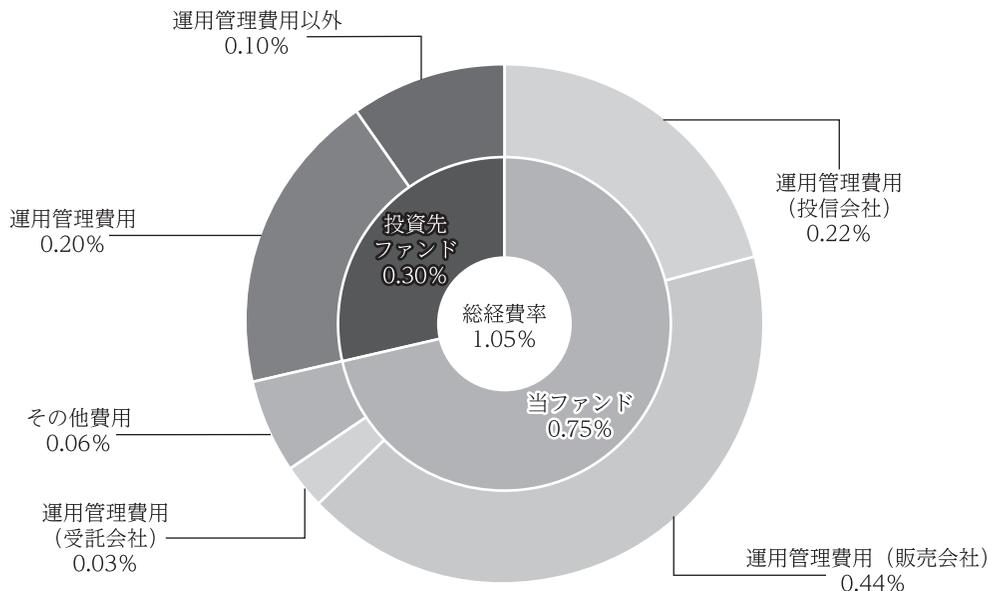
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05%です。



総経費率 (①+②+③)	1.05%
①当ファンドの費用の比率	0.75%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.20%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドでは、監査費用等がかかる場合がありますが、上記の「運用管理費用以外」には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2016年10月21日～2021年10月21日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2016年10月21日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2016/10/21	2017/10/23	2018/10/22	2019/10/21	2020/10/21	2021/10/21
基準価額	(円)	10,258	10,261	9,767	10,684	11,241	11,315
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	0.0	-4.8	9.4	5.2	0.7
純資産総額	(百万円)	222	131	106	66	358	1,887

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

米国債券市場

当（作成）期初から2021年8月にかけて、米国投資適格社債は上昇（利回りは低下）しました。米国債利回りは、インフレ率の上振れや量的緩和縮小の議論などの材料を消化しつつ揉み合いで推移した後、7月には変異型の新型コロナウイルス感染拡大による景気減速懸念から低下しました。社債スプレッドは、ワクチン接種の進展と今後の景気回復に対する楽観的な見方から縮小傾向が続きまして、9月以降は、米国投資適格社債は下落（利回りは上昇）しました。社債スプレッドは堅調な需要に支えられ低位で安定的に推移しましたが、9月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）においてテーパリング（量的緩和の縮小）の開始が近いとするタカ派的な内容が示されたことから、米国債利回りは上昇しました。結果として、米国投資適格社債の利回りは当（作成）期末にかけて上昇しました。

国内債券市場

当（作成）期初から2021年7月にかけて、日本国債利回りは低下（価格は上昇）基調で推移しました。緊急事態宣言が延長される中で大規模な金融緩和策が維持されるとの見方が材料となりました。その後、当（作成）期末にかけては、欧米の長期金利上昇を受けて日本国債利回りも上昇しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付 (毎月決算型) / (年2回決算型)

主要な投資対象の一つである「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンドクラス」_{JDM} (hedged)」(以下「USIGボンド・ファンド」ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

USIGボンド・ファンド

主として、米国の債券市場において発行されたBBB-相当以上の米ドル建ての投資適格債券に投資を行いました。原則として米ドル建ての資産について対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当(作成)期は、銘柄別ではエネルギー会社、金融サービス会社、通信会社などが発行する債券の保有がプラスとなった一方で、航空機メーカー、公益企業、インターネットサービス会社などが発行する債券の保有はマイナスに影響しました。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

（毎月決算型）

項目	第60期	第61期	第62期	第63期	第64期	第65期
	2021年4月22日 ～2021年5月21日	2021年5月22日 ～2021年6月21日	2021年6月22日 ～2021年7月21日	2021年7月22日 ～2021年8月23日	2021年8月24日 ～2021年9月21日	2021年9月22日 ～2021年10月21日
当期分配金 (円)	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率） (%)	0.094	0.092	0.091	0.091	0.091	0.093
当期の収益 (円)	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外 (円)	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額 (円)	1,482	1,494	1,505	1,508	1,514	1,517

（年2回決算型）

項目	第11期
	2021年4月22日 ～2021年10月21日
当期分配金 (円)	-
（対基準価額比率） (%)	-
当期の収益 (円)	-
当期の収益以外 (円)	-
翌期繰越分配対象額 (円)	1,453

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付 (毎月決算型) / (年2回決算型)

主要な投資対象の一つであるUSIGボンド・ファンドの組入比率を高位に保つことを基本とします。

USIGボンド・ファンド

米国企業を取り巻くファンダメンタルズは引き続き改善しているとみられますが、足元のスプレッド水準を考慮すると、一部の投資適格社債はバリュエーションの魅力度が低下していると考えています。この様な環境下では業種および銘柄選択が引き続き重要であると考えており、コロナ禍からの経済活動の再開によって恩恵を受ける業種に注目していま

す。年末にかけては債券発行額の減少を予想する一方で、足元の金利上昇で投資家からの需要が高まると思われます。米連邦準備制度理事会 (FRB) によるテーパリング (量的緩和の縮小) の開始やインフレ率の上昇、供給網の混乱などが企業収益を下押しする要因となる可能性があります。今後も長期的な視点に立って慎重にセクターおよび銘柄を選択し、ポートフォリオを構築してまいります。

イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

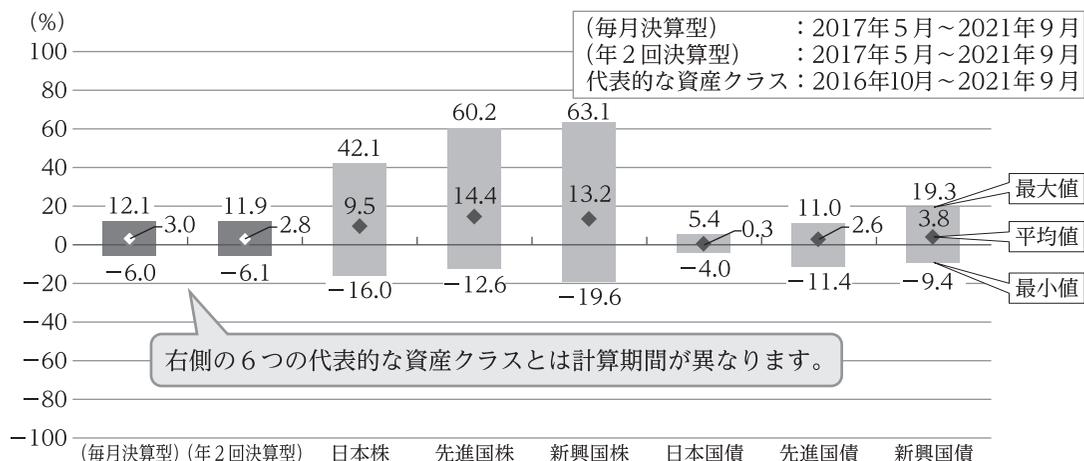
商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2016年5月10日から2026年4月21日まで
運用方針	主として、米ドル建ての債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラス」 _{JDM} (hedged) の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
運用方法	以下の投資制限のもと運用を行います。 <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への直接投資は行いません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月21日（休業日の場合は翌営業日） (年2回決算型) 原則として毎年4月21日および10月21日（休業日の場合は翌営業日） 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

指数に関して

当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI国債	
先進国債	JPMorgan Global (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
新興国債	JPMorgan Global-EM ローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

(毎月決算型)

当ファンドの組入資産の内容

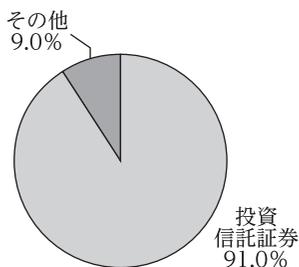
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

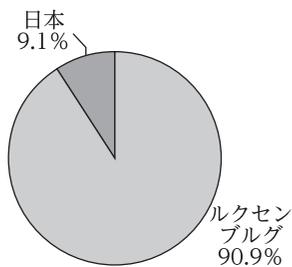
ファンド名	第65期末 2021年10月21日
イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ _{JDM} (hedged)	90.9%
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

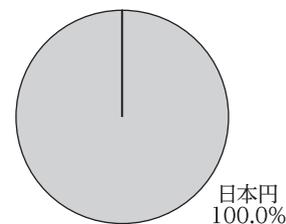
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第60期末 2021年5月21日	第61期末 2021年6月21日	第62期末 2021年7月21日	第63期末 2021年8月23日	第64期末 2021年9月21日	第65期末 2021年10月21日
純資産総額 (円)	53,721,003	54,641,586	46,946,496	44,776,786	45,109,055	44,247,726
受益権総口数 (口)	50,350,159	50,365,801	42,719,454	40,937,271	41,192,777	41,165,974
1万口当たり基準価額 (円)	10,669	10,849	10,989	10,938	10,951	10,749

*当作成期中（第60期～第65期）において追加設定元本額は2,808,308円、一部解約元本額は11,740,788円です。

ファンドデータ

(年2回決算型)

当ファンドの組入資産の内容

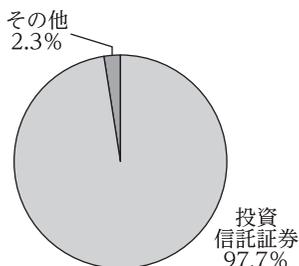
組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

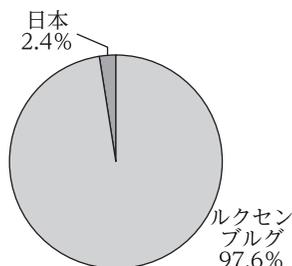
ファンド名	第11期末 2021年10月21日
イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ JDM (hedged)	97.6%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)	0.1%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

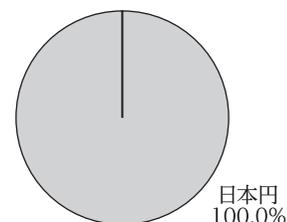
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

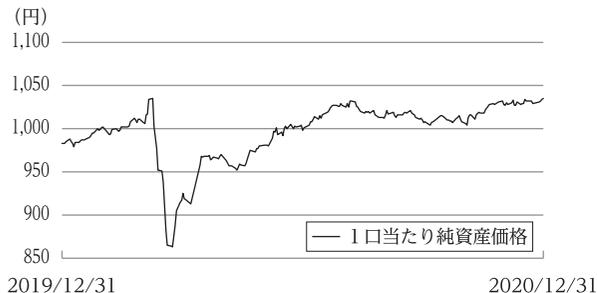
純資産等

項目	第11期末 2021年10月21日
純資産総額 (円)	1,887,171,722
受益権総口数 (口)	1,667,777,506
1万口当たり基準価額 (円)	11,315

*当期中において追加設定元本額は931,953,942円、一部解約元本額は35,285,471円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ_{JDM} (hedged)>
 基準価額（1口当たり純資産価格）の推移



1万口当たりの費用明細

(2020年1月1日～2020年12月31日)

当該期間のAnnual Report（監査済み）には、
 1万口当たりの費用明細が開示されていないため、
 記載できません。

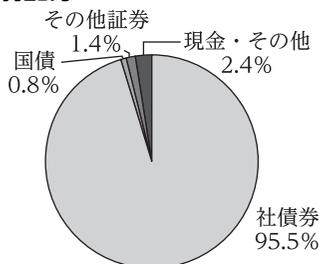
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンドの内容です。

組入上位10銘柄（組入銘柄数：409銘柄）

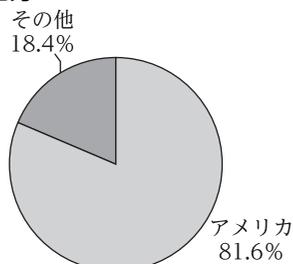
（2020年12月31日現在）

銘柄名	業種	利率	償還日	国・地域	比率
CITIGROUP INC	銀行	4.450%	2027/9/29	アメリカ	1.7%
VERIZON COMMUNICATIONS INC	通信	4.400%	2034/11/1	アメリカ	1.2%
BANK OF AMERICA CORP FRN	銀行	3.419%	2028/12/20	アメリカ	1.0%
MORGAN STANLEY	金融	3.625%	2027/1/20	アメリカ	1.0%
ORACLE CORP	テクノロジー/ エレクトロニクス	3.600%	2050/4/1	アメリカ	0.9%
WELLS FARGO & CO 'MTN' FRN	銀行	3.196%	2027/6/17	アメリカ	0.9%
ANHEUSER-BUSCH COS LLC / ANHEUSER-BUSCH INBEV WORLDWIDE INC	消費財	4.900%	2046/2/1	ベルギー	0.9%
GE CAPITAL INTERNATIONAL FUNDING CO UNLIMITED CO	資本財	4.418%	2035/11/15	アメリカ	0.7%
JPMORGAN CHASE & CO FRN	銀行	3.220%	2025/3/1	アメリカ	0.7%
CHENIERE CORPUS CHRISTI HOLDINGS LLC	エネルギー	7.000%	2024/6/30	アメリカ	0.6%

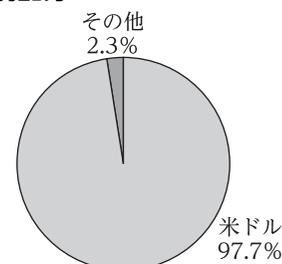
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

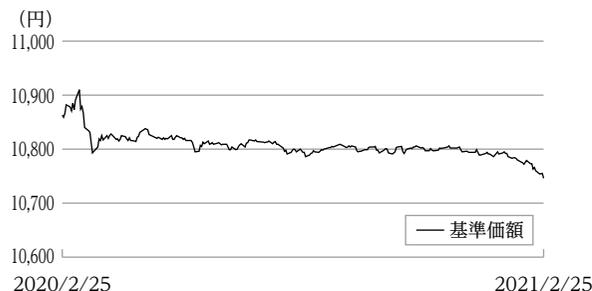
(注3) 通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）>

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(2020年2月26日～2021年2月25日)

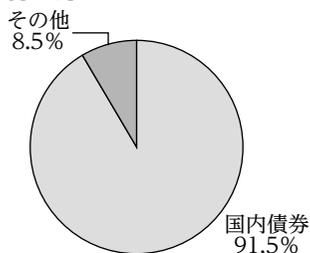
項目	金額	比率
(a) 信託報酬	24円	0.220%
（投信会社）	(15)	(0.143)
（販売会社）	(2)	(0.022)
（受託会社）	(6)	(0.055)
(b) その他費用	2	0.014
（監査費用）	(2)	(0.014)
合計	26	0.234

組入上位10銘柄（組入銘柄数：14銘柄）

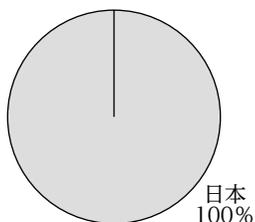
（2021年2月25日現在）

銘柄名	種別	利率	償還日	国・地域	比率
第359回利付国債（10年）	国債	0.1%	2030/6/20	日本	13.1%
第87回利付国債（20年）	国債	2.2%	2026/3/20	日本	8.9%
第354回利付国債（10年）	国債	0.1%	2029/3/20	日本	8.6%
第91回利付国債（20年）	国債	2.3%	2026/9/20	日本	8.2%
第63回利付国債（20年）	国債	1.8%	2023/6/20	日本	7.6%
第351回利付国債（10年）	国債	0.1%	2028/6/20	日本	7.3%
第67回利付国債（20年）	国債	1.9%	2024/3/20	日本	6.9%
第80回利付国債（20年）	国債	2.1%	2025/6/20	日本	6.0%
第53回利付国債（20年）	国債	2.1%	2021/12/20	日本	5.9%
第117回利付国債（20年）	国債	2.1%	2030/3/20	日本	4.7%

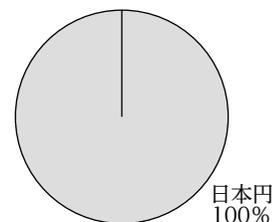
資産別配分



国別配分



通貨別配分



（注1）1万口当たりの費用明細の項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

（注2）組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。